

平成 29 年度 事業報告書

一般財団法人 大阪市職員互助会

I 互助会の概況

1 沿革

昭和5年6月1日	大阪市雇用員等職員の相互共済と福利増進を目的として発足。 名称 大阪市共済組合
昭和16年4月1日	内務省の市町村共済組合助成要綱により組合員の範囲を拡大して吏員も組合に抱合。
昭和23年8月1日	健康保険法の大改正に伴い、保険給付を健康保険組合に移管。
昭和24年2月4日	組合規則を大幅に改正し、職員全員を強制加入。
昭和30年1月1日	市町村職員共済組合法が施行されたが、大阪市は適用除外の取扱いを受け、同法に基づく年金制度を独自で実施。
昭和30年4月1日	大阪市職員共済組合条例制定
昭和34年10月1日	国家公務員等共済組合法の一部改正に伴い、警察共済組合員であった消防職員を組合員に引継。
昭和37年12月1日	地方公務員等共済組合法の施行に基づく大阪市職員共済組合の発足に伴い、年金等一部退職給付金を新組合に移管し、組合の名称を大阪市互助組合と改称。
昭和50年10月1日	組合の名称を大阪市職員互助組合と改称。
昭和63年4月1日	公益法人格を取得し、財団法人大阪市職員互助組合となる。
平成19年4月1日	財団法人大阪市職員互助組合、大阪市交通局互助組合、大阪市水道局互助組合、財団法人大阪市教職員互助組合を統合し、財団法人大阪市職員互助会となる。
平成25年4月1日	一般財団法人へ移行し、一般財団法人大阪市職員互助会となる。

2 定款に定める目的

互助会は、会員の福祉の増進と福利厚生の実を図り、大阪市行政の円滑な推進に資するとともに、広く公共の福祉の向上に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

(1) 会員を対象とした福利厚生に関する事業

- ア 給付事業である共済事業
- イ 慰安厚生事業
- ウ 厚生資金貸付事業

- エ 物資あつせん事業
- オ 特約店あつせん事業
- カ 会館経営事業
- キ 保険取扱事業
- ク その他の福利厚生事業

(2) 福利厚生に関する事務事業の受託

(3) 大阪市民の福祉及び便益に資する事業

- ア 文化及び芸術の振興事業
- イ 災害による被害者の支援事業
- ウ 児童又は青少年の健全な育成事業
- エ 地域社会の健全な発展に寄与する事業

(4) 損害保険代理店業

(5) 前各号に掲げるもののほか、互助会の目的を達成するために必要な事業

4 監督機関に関する事項

大阪府総務部法務課

5 会員の状況

大阪市職員等で一般財団法人大阪市職員互助会定款に定める者

平成 30 年 4 月 1 日現在会員数 28,450 人

○会員数の推移 (各年度とも 4 月 1 日現在)

年度	会員数
25	36,882
26	36,353
27	35,768
28	35,375
29	34,374

6 主たる事務所

大阪府中央区安土町 3 丁目 1 番 3 号 ヴィアーレ大阪内

7 役員等に関する事項

役員等の名称		人数(人)		任期 (年) ※	選任方法	職務及び権限
		理事会 推薦	会員 推薦			
評 議 員	評議員	10	10	4	10名を理事会が推薦、10名を会員が推薦し、評議員会で選任	評議員会において次の事項について決議する。 ①理事及び監事並びに会計監査人の選任又は解任 ②理事及び監事の報酬等の額 ③評議員に対する報酬等の支給の基準 ④会計諸表の承認 ⑤定款の変更 ⑥残余財産の処分 ⑦基本財産の処分及び除外の承認 ⑧その他決議するものとして法令又は定款で定められた事項
	評議員 (外部)	1	—			
	小計	11	10			
	合計	21				
理 事	理事長 (代表理事)	1	—	2	理事の中から理事会の決議によって選定	互助会を代表し、業務を執行する。
	副理事長	1	1		理事の中から理事長が推薦し、理事会で選定	理事長を補佐し、業務を執行する。
	執行理事 (業務執行理事)	1	—		理事の中から理事長が推薦し、理事会で選定	理事長及び副理事長を補佐し、業務を分担執行する。
	理事	3	4		6名以内を理事会が推薦、他を会員が推薦し、評議員会の決議により選任	職務を執行する。
	小計	6	5			
合計	11					
監 事	監事	2		4	理事が候補者を推薦し、監事の過半数の同意を得て、評議員会の決議により選任	理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する。
	監事 (外部)	1				
	合計	3				
会計監査人		1		1	評議員会の決議により選任	会計諸表を監査し、会計監査報告を作成する。

※ 選任後、任期の年数以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【参考】

一般財団法人大阪市職員互助会 役員等名簿

任期 平成31年 6月評議員会

理事会推薦			会員推薦		
役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
理事長	村上 龍一	互助会	副理事長	多田 一仁	淀川区役所
副理事長	釦持 英樹	人事室	理事	田中 清文	港湾局
執行理事	門奈 幹雄	互助会	理事	中村 寿夫	水道局
理事	新谷 憲一	水道局	理事	田邑 和美	森之宮小学校
理事	井上 省三	教育委員会事務局			

任期 平成31年 6月評議員会

理事会推薦			会員推薦		
役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
評議員	橘 隆義	人事室	評議員	金子 俊雄	西成区役所
評議員	宮本 昭一	人事室	評議員	川口 篤志	環境施設組合
評議員	西峰 光宏	環境局	評議員	八尾 高志	生野区役所
評議員	川島 康裕	天王寺区役所	評議員	北川 雅之	水道局
評議員	植松 幸広	消防局	評議員	石崎 繁	市民病院機構
評議員	畑 公祥	市民病院機構	評議員	橋口 香世子	市立大学
評議員	辻 一朗	水道局	評議員	辻本 正純	汎愛高等学校
評議員	羽者家 英雄	市立大学	評議員	関戸 喜美恵	玉造小学校
評議員	松浦 令	教育委員会事務局	評議員	場口 博文	豊崎東小学校
外部評議員	谷川 昌司	公認会計士			

任期 平成31年 6月評議員会

監事	米倉 康博	人事室	監事	乾 浩治	水道局
監事	谷口 秀夫	税理士			

会計監査人	恒 栄 監 査 法 人
-------	-------------

平成30年 5月 1日現在

8 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催日等	議案・報告
平成 29 年 4 月 30 日	第 1 号議案 理事会推薦評議員 1 名の推薦について 第 2 号議案 評議員会の決議の省略についての決定
平成 29 年 6 月 7 日	第 1 号議案 平成 28 年度一般財団法人大阪市職員互助会事業報告及び決算報告並びに公益目的支出計画実施報告について 第 2 号議案 理事会推薦理事の選定について 第 3 号議案 評議員会の招集について 第 1 号報告 理事の職務の執行状況の報告について 第 2 号報告 会員制施設の契約終了について 第 3 号報告 特約店等の新規契約及び契約終了について
平成 29 年 6 月 29 日	第 1 号議案 理事長 1 名の選定について 第 2 号議案 副理事長 2 名の選定について 第 3 号議案 執行理事 1 名の選定について
平成 29 年 9 月 1 日	第 1 号議案 平成 29 年度の資産運用方針について 第 2 号議案 評議員会の決議の省略についての決定
平成 29 年 9 月 28 日	第 1 号議案 評議員会の決議の省略についての決定
平成 29 年 11 月 28 日	第 1 号議案 評議員会の決議の省略についての決定
平成 29 年 11 月 30 日	第 1 号議案 副理事長の選定について
平成 30 年 2 月 5 日	第 1 号議案 交通局事業の民営化に伴う短期給付事業「退会慰労金」給付額の決定及び平成 29 年度予算の補正について 第 2 号議案 交通局事業の民営化により退会となる現会員の「ヴィアーレ大阪」利用について 第 3 号議案 クリアウォーターOSAKA 株式会社の福利厚生事業の受託について 第 4 号議案 借上げ宿泊施設事業の試行実施について 第 5 号議案 厚生資金貸付事業の一部変更について 第 6 号議案 平成 30 年度一般財団法人大阪市職員互助会事業計画並びに予算について 第 7 号議案 役員等の報酬規程の一部改正について 第 8 号議案 嘱託職員等就業規則及び育児・介護休業規程の改正について 第 9 号議案 評議員会の招集について 第 1 号報告 理事の職務の執行状況の報告について 第 2 号報告 特約店等の新規契約及び契約終了について 第 3 号報告 団体年金保険「ハッピーライフ（拠出型企業年金保険）」について 第 4 号報告 損害保険代理店業について
平成 30 年 3 月 29 日	第 1 号議案 大阪市職員互助会運営規則等の一部改正について 第 2 号議案 理事会推薦理事 1 名の推薦について 第 3 号議案 理事会推薦評議員 3 名の推薦について 第 4 号議案 今後の資産運用方針について 第 5 号議案 評議員会の決議の省略についての決定

(2) 評議員会

開催日等	議案・報告
平成 29 年 5 月 1 日	第 1 号議案 理事会推薦評議員 1 名の選任について
平成 29 年 6 月 29 日	第 1 号議案 平成 28 年度一般財団法人大阪市職員互助会事業報告及び決算報告について 第 2 号議案 理事の選任について 第 1 号報告 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告について 第 2 号報告 団体年金保険「ハッピーライフ」について 第 3 号報告 損害保険代理店業について 第 4 号報告 福利厚生に関する事務事業の受託について 第 5 号報告 会員制施設の契約終了について 第 6 号報告 特約店の新規契約及び契約終了について
平成 29 年 9 月 1 日	第 1 号議案 会員推薦評議員 1 名の選任について
平成 29 年 9 月 29 日	第 1 号議案 会員推薦理事 1 名の選任について
平成 29 年 11 月 29 日	第 1 号議案 会員推薦理事 1 名の選任について
平成 30 年 2 月 22 日	第 1 号議案 平成 29 年度一般財団法人大阪市職員互助会補正予算について 第 2 号議案 平成 30 年度一般財団法人大阪市職員互助会事業計画並びに予算について 第 3 号議案 理事の報酬について 第 1 号報告 交通局事業の民営化に伴う短期給付事業「退会慰労金」給付額の決定及び現会員の「ヴィアール大阪」利用について 第 2 号報告 借上げ宿泊施設事業の試行実施について
平成 30 年 3 月 30 日	第 1 号議案 理事会推薦理事 1 名の選任について 第 2 号議案 理事会推薦評議員 3 名の選任について

9 職員に関する事項

(毎年4月1日現在 単位:人)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
大阪市派遣職員	1	1	1	0	0
正職員	—	—	—	11	12
再雇用職員	—	—	—	—	1
嘱託職員	15	17	14	8	9
大阪市職員 OB(管理職)	5	4	4	6	7
民間 OB(管理職)	0	1	1	2	1
その他	10	12	9	0	1
契約職員	—	—	—	1	0
非常勤職員	1	1	1	2	2
その他	7	5	5	4	3
合計	24	24	21	26	27

10 所管官庁(大阪府)への届出事項

届出年月日	届出事項
平成 29 年 6 月 30 日	公益目的支出計画実施報告書等の提出

II 事業の状況

当会では、会員を対象とした福利厚生に関する事業等を実施するとともに、一般財団法人（移行法人）として公益目的支出計画に基づき大阪市民等を対象とした公益事業を実施している。

ヴィアール大阪においては、会員を対象としたイベントの実施や、宴会場・レストランにおいて特別メニューを提供している。

また選択型福利厚生事業を継続するとともに、さらなる会員サービスの充実を図るため、新たな保険商品の導入や損害保険代理店業の本格的実施に取り組んだ。

1 平成29年度事業の実施状況 ※（ ）内は前年度の実績

(1) 会員を対象とした福利厚生に関する事業

ア 給付事業である共済事業

会員の相互共済のため、長期給付事業・短期給付事業を実施した。また、在職中に死亡した会員の遺児に対して育英資金を給付した。

長期給付事業・短期給付事業	延べ8,278人 (2,836人)
遺児育英資金給付事業	平成30年3月末受給者数 131人 (141人)

イ 慰安厚生事業

商品との交換や飲食・旅行等に使用できる利用券（20,000円相当）を会員に配付するとともに、スポーツ施設等の対象施設において割引利用できる会員証を発行した。

利用券の利用率は高く、好評を得ている。

平成29年度利用率	94.1% (94.3%)
会員証発行数	35,178枚 (35,444枚)

ウ 厚生資金貸付事業

会員の生活上の不時の出費に対して、資金の貸付を実施した。平成29年度の新規貸付は1,773件であり、前年度（1,918件）より減少した。

平成30年3月末貸付件数	延べ7,971件 (8,701件)
平成30年3月末貸付残高	30億3,590万円 (37億4,346万円)

エ 物資あっせん事業

日用品等のあっせんを行い、会員の生活利便の向上を図った。利用数が減少傾向にあることから、会員ニーズに沿った取扱品目の拡大などをすすめている。

家電商品等については平成29年6月からインターネットショッピングを導入し、年間を通して随時に購入できることとなり好評を得ている。

平成29年度物資あっせん取扱い実績	4回	218件	(4回	506件)
平成29年度インターネットショッピング取扱い件数				598件

オ 特約店あっせん事業

百貨店、電化製品取扱店、企画旅行等の各種専門店、クレジット会社、家庭用常備薬等の販売会社等と契約を締結し、優待金額での利用や年会費の割引等の特典が受けられるなど会員の利便に供した。

特約店数	47社	(54社)
準特約店数	15社	(12社)

カ 会館経営事業

婚礼・宴会・飲食・宿泊・会議・講演・サークル活動などに利用できる会館としてヴィアーレ大阪を運営し、様々なイベントや宿泊プラン等の企画により会員の利用促進を図った。

1階レストランをはじめ2階3階の大小宴会場では、歓送迎会、忘年会、新年会などの時季に応じた特別メニューを提供した。レストランにおいては会員向けの特別企画を実施した。

3階のチャペル、婚儀殿、宴会場等では、結婚式や披露宴の会員向け特別プランを提供した。

4階のヴィアーレホールでは、会員及び会員の家族を対象とした落語寄席、子育て世代を対象としたコンサートや親子教室など多様なイベントを開催した。

5階の会議室、多目的ルーム、茶室などを会員価格で提供した。

6階の客室では、会員限定の各種特別宿泊プランを提供した。

ヴィアーレ大阪	会員利用実績	延べ75,502人	(81,162人)
	平成29年度結婚式取扱数	22件	(23件)

キ 保険取扱事業

契約件数の推移（各年度とも3月末現在）

保 険 名		平成29年度	平成28年度
団体保険	公務員賠償責任保険	4,041	4,080
	火災共済	1,159	1,276
	団体生命保険	7,913	7,912
	団体総合生活保険	22,352	23,259
	拠出型企業年金保険	766	—
団体扱保険	一般生命保険（15社）	26,628	28,281
	自動車保険	5,460	6,098
	火災保険	102	94
	ペット保険	135	130
旧保険制度（現在募集なし）		364	423
計		68,920	71,553

ク 法律相談事業

相続や借入れなどのトラブルで法的な対応が必要となった会員のため、ヴァーレ大阪において無料で弁護士に相談できる機会を提供した。

平成29年度相談件数 48件（44件）

ケ その他

互助会事業の概要や実際に事業を利用するときの手続き方法等を紹介した手引きを5月に全ての会員に配付した。広報誌「four-leafクローバー」を年4回（6月、9月、11月、2月）発行し、全会員に配付した。

当会ホームページ内の会員向けコンテンツにおいて、時宜にかなった慰安厚生事業等の情報を提供した。

平成29年度ホームページ総アクセス件数 59,319件（50,570件）

(2) 大阪市民の福祉及び便益に資する事業

市民の福祉に資する事業として、下記の公演・体験会等を実施した。

ア 公益事業 1

『防災啓発及び災害発生時の徒歩帰宅者支援事業』

① 防災啓発事業

- ・防災啓発用のパンフレット「日頃からやっておこう!!!防災対策」を、公益事業実施時に2,255枚配布した。

	事業名	実施日	開催場所	配布数
継 1	シオン ファミリーコンサート	平成 29 年 7 月 22 日 (土)	ヴィアーレ大阪	588 枚
	はじめての 上方落語寄席	平成 29 年 11 月 25 日 (土)	ヴィアーレ大阪	528 枚
	シオン クリスマスコンサート	平成 29 年 12 月 16 日 (土)	ヴィアーレ大阪	471 枚
	はじめての文楽	平成 30 年 3 月 25 日 (日)	ヴィアーレ大阪	566 枚
継 2	日本文化体験会	平成 29 年 10 月 15 日 (日)	ヴィアーレ大阪	102 枚

- ・「はじめての文楽」来場者へ長期保存水 500ml 560 本 を配布した。

- ・徒歩帰宅者支援を目的とした新たな物品の備蓄
アルファ化米（保存期間 5 年） 個食タイプ 2,150 食

イ 継続事業 1

『大阪市民の文化・芸術鑑賞の機会の提供及び文化・芸術の振興を目的とする事業』

① 大阪市音楽団公演

実施内容：一般社団法人大阪市音楽団に依頼し、幅広い年代が楽しめるコンサートを開催した。

事業名	オサカ・シオン・ウインド・オーケストラ ファミリーコンサート		オサカ・シオン・ウインド・オーケストラ クリスマスコンサート	
	日時	平成 29 年 7 月 22 日 (土) 第 1 部 11:00/第 2 部 14:00		平成 29 年 12 月 16 日 (土) 第 1 部 13:30/第 2 部 16:30
場所	大阪府中央区安土町 3 丁目 1-3 ヴィアーレホール			
公演	一般社団法人 大阪市音楽団			
対象	大阪市在住・在学・在勤の方			
定員	各回 350 名			
実績	第 1 部	第 2 部	第 1 部	第 2 部
応募数	496 名	198 名	354 名	212 名
参加数	300 名	288 名	284 名	187 名

② 上方落語公演

実施内容：大阪特有の文化である上方落語を多くの方々に楽しんでいただくため、上方落語鑑賞会を開催した。

事業名	はじめての上方落語寄席	
日時	平成 29 年 11 月 25 日（土） 第 1 部 11：00／第 2 部 15：00	
場所	大阪市中央区安土町 3 丁目 1－3 ヴィアーレホール	
対象	大阪市在住・在学・在勤の方	
定員	各回 350 名 計 700 名	
出演者	桂そうば・桂しん吉・桂米左・桂紅雀・桂文之助	
実績	第 1 部	第 2 部
応募数	318 名	313 名
参加数	276 名	252 名

③ 文楽公演

実施内容：大阪特有の文化である人形浄瑠璃「文楽」を多くの方々に楽しんでいただくため、文楽公演を開催した。

事業名	はじめての文楽	
日時	平成 30 年 3 月 25 日（日） 第 1 部 13：00／第 2 部 16：00	
場所	大阪市中央区安土町 3 丁目 1－3 ヴィアーレホール	
対象	大阪市在住・在学・在勤の方	
定員	各回 320 名 計 640 名	
公演	公益財団法人文楽協会	
実績	第 1 部	第 2 部
応募数	503 名	288 名
参加数	292 名	274 名

ウ 継続事業 2

『講習会及び体験会により高齢者の福祉の増進及び児童又は青少年の健全な育成等を目的とする事業』

実施内容：大阪市役所文化会の協力を得て、茶道部によるお菓子、お茶のいただき方の体験会とお点前の見学、同華道部によるいけばな体験、同書道部による自由書道、同箏曲部による箏曲鑑賞とお琴の演奏体験のほか、米朝事務所による落語体験会を実施した。

事業名	日本文化体験会
日時	平成 29 年 10 月 15 日 (日) 午後 1 時 00 分～午後 4 時 30 分
場所	大阪府中央区安土町 3 丁目 1 - 3 ヴィアーレ大阪
対象	大阪市内の小学校 5・6 年生
定員	120 名
応募数	416 名
参加数	102 名

エ 継続事業 3

『イルミネーションによる地域の活性化等を目的とする事業』

「OSAKA 光のルネサンス 2017 への参画」

実施内容：大阪府役所正面玄関前にイルミネーション展示を実施した。

実施日時：平成 29 年 12 月 14 日 (木)～25 日 (月)
午後 5 時 00 分～午後 10 時 00 分

来場者数：約 273 万人

オ その他

大阪府市民の便益に資する事業として、会館の市民利用をはかり、各種会議、研修会、懇親会など市民が集う場を提供した。

ヴィアーレ大阪 市民利用実績 延べ92,620人 (89,912人)

(3) 損害保険代理店業

平成29年4月1日から、本格的に代理店として営業を開始し、団体保険として「団体総合生活保険」及び「公務員賠償責任保険」並びに団体扱保険として「ペット保険」を取扱った。また、大阪府関連法人への営業活動に注力した。

2 正味財産増減の状況及び財産の増減の推移

(単位：円)

科 目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	570,000	570,000	570,000	570,000	570,000
②特定資産運用益	217,882,177	274,258,376	250,561,921	24,325,610	0
③事業収益	1,820,195,189	1,785,279,683	1,846,244,376	1,743,712,164	1,848,754,304
④雑収益	3,287,200,803	3,642,843,361	962,135,475	721,105,566	694,027,549
⑤共用資産負担収益	7,899,665	7,231,809	3,849,456	3,656,061	4,517,105
⑥引当金戻入額	3,987,460,000	3,883,420,000	3,932,045,000	4,043,197,000	4,067,365,000
経常収益計	9,321,207,834	9,593,603,229	6,995,406,228	6,536,566,401	6,615,233,958
(2) 経常費用					
①事業費	2,586,397,851	2,379,723,872	2,756,864,980	2,403,881,831	3,335,424,167
②管理費	107,793,291	133,767,497	272,128,615	166,426,968	122,773,206
③雑損失	721,651,607	70,401	121,000,000	291,000	12,150,000
④共用資産負担支出	7,899,665	7,231,809	3,849,456	3,656,061	4,517,105
⑤引当金繰入額	3,883,420,000	4,252,993,000	4,009,291,000	4,151,213,000	3,135,568,000
経常費用計	7,307,162,414	6,773,786,579	7,163,134,051	6,725,468,860	6,610,432,478
評価損益等調整前当期経常増減額	2,014,045,420	2,819,816,650	△167,727,823	△188,902,459	4,801,480
投資有価証券評価損益等	2,735,978,874	1,235,761,424	△210,023,754	△238,443,896	504,124,496
特定資産評価損益等	152,558,048	255,235,611	△358,906,513	124,390	0
評価損益等計	2,888,536,922	1,490,997,035	△568,930,267	△238,319,506	504,124,496
当期経常増減額	4,902,582,342	4,310,813,685	△736,658,090	△427,221,965	508,925,976
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
①その他収益	89,343,871	0	0	0	0
経常外収益計	89,343,871	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
①固定資産売却損	0	0	0	0	0
②除却損失	1	2	5	249,594	0
③雑損失	29,271	0	10,842,854	110,487	600,547
④有価証券売却費用	0	775,850	0	402,474	2,382,519
経常外費用計	29,272	775,852	10,842,859	762,555	2,983,066
当期経常外増減額	89,314,599	△775,852	△10,842,859	△762,555	△2,983,066
税引前当期一般正味財産増減額	4,991,896,941	4,310,037,833	△747,500,949	△427,984,520	505,942,910
法人税等	70,000	181,209,100	127,591,812	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	4,991,826,941	4,128,828,733	△875,092,761	△428,054,520	505,872,910
一般正味財産期首残高	15,666,218,654	20,658,045,595	24,786,874,328	23,911,781,567	23,483,727,047
一般正味財産期末残高	20,658,045,595	24,786,874,328	23,911,781,567	23,483,727,047	23,989,599,957
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,658,045,595	24,786,874,328	23,911,781,567	23,483,727,047	23,989,599,957

Ⅲ 法人の課題

○ 安定的な事業の運営

交通局事業の民営化による会員数の減少等に伴い、事業収入等の減収が見込まれるが、損害保険代理店業における取扱い保険商品の拡充を進めている。

各種の福利厚生事業についても、会員サービス充実のため新規事業の導入に取り組んでいる。

Ⅳ 株式を保有している場合の概要

当会が全株式の20%以上を保有している営利企業はない。

Ⅴ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当事項はない。